

「広島県内公的病院経営トップアカデミー」を全4回開催

HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センターの企画請負形式による「広島県内公的病院経営トップアカデミー」を全4回（毎月第2土曜日、10:30-17:50、90分講義×4回+ランチョンミーティング）にわたり開催いたしました。

本企画は、「地域の医療を守るため公的病院等の経営力を高める段取りについて病院のトップの皆様と考えて頂く機会を提供すること」を目的に、オブザーバーを浅原利正（広島県病院事業管理者）、木倉敬之（元厚生労働省保険局長）、田中剛（広島県健康福祉局長）、土肥博雄（広島赤十字・原爆病院名誉院長）、山口昇（公立みつぎ総合病院名誉院長）〔敬称略、五十音順〕をお願いして、公立・公的病院の病院長等の方々（12名）にご参加いただきました。

1

医療経営の原理と公的病院の経営

2019年11月9日

病院経営の最も基本的な外部環境である人口動向等をはじめとする社会の変化の下で地域の医療を守るために公的病院等の経営力を高める段取りについて考えていただくことを目的に下記の講義を準備しました。

- 医療経営の原理...ビジネスドメインについて
- 社会保障政策における地域医療構想の重要性
- 地域医療構想と地域包括ケアシステムはつながる
- 医療システムのデザインとマネジメント



2

医療制度の改革と公的病院の経営

2019年12月14日

これからの公的病院の経営にとって欠かせない経営概念となるアカウンティングとアカウンタビリティについて考えていただくことを目的に下記の講義を準備しました。

- 医療経営の原理...アカウンティングについて
- 地域医療構想と病院経営のあり方について
- 支払基金の改革そして医療費適正化について
- なぜ広島県の地域医療構想は・・・なのか



3

公的病院の経営改善の実際を考える

2020年1月11日

公立病院改革の重要な経営形態の見直し策である非公務員型地方独立行政法人の取り組みについて具体的な事例をご紹介して考えを整理していただくことを目的に下記の講義を準備しました。

- イントロダクション...学びの復習を加えたわが国病院の独法化について
- 市立静岡病院の独法化と地域医療構想
- 独法化にかかる説明責任と業務実績評価について
- 医療改革の動向と政策が公的病院の経営に及ぼす影響について ほか



4

公的病院事業の再設計を考える

2020年2月8日

深刻な事業不振から脱することに成功した企業の経営取り組み事例を説明するリエンジニアリングの考え方を紹介し、公的病院の事業再設計の考えを整理していただくことを目的に下記の講義を準備し、講義終了後に皆で意見を交換する場を設けました。

- 隣接市の二つの市立病院を一つに統合した事務局責任者の体験談
- 東京大学が試みる『経営ができる大学病院幹部養成プログラム』の紹介
- 医療システムのリデザインとマネジメント

